

令和6年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立相生小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

(現2年) 教科横断的な学習を計画することで、細かく観察したり、観察したことをまとめたりする技能が高められることができた。

(2) 課題

(現2年) 調べたり、まとめたりする活動について、低学年の児童に適する資料が少ない。(インターネットで資料を探しても難しいものが多く、図鑑等は必要数が足りないことがある。) 調べたことをまとめる学習カード等の形式についても、学年の実態に応じて作成したり、工夫したりする必要がある。

2 授業改善のポイント (観点別)

低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・四季の移り変わりの様子や動植物の成長に関して、気付いたことを具体的に言語化できるようにする。例えば、メモしたことを、観察カードに「見る・触る・匂い・聞く」の観点を入れて文章にする練習をすること等。・タブレットを使用して調べ活動をするにあたり、事前に操作練習を実施する。	<ul style="list-style-type: none">・町探検や学校探検等で思ったことや考えたことをカードに書いたり発表したりする活動において、発表する力を育む。・友達の発表や教師の例示から、言葉や言い回し等の表現方法のバリエーションを増やす。	<ul style="list-style-type: none">・学校生活について主体的に知るために、まずは、学校についての知っていることや知らないこと、知りたいことなどの児童の声を聴き、スタートカリキュラムを進める。・学校探検で1年生を案内する。自分たちの学校について詳しく知りたいという思い(1年生)や教えてあげたいという思い(2年生)を抱かせ、主体的な学習活動につなげる。・適宜NHK for schoolの動画資料を活用し、生き物への興味関心を高め、栽培・飼育活動への意欲を高める。